

# 未来の海のために今できることを

## UMIGOMI 0 PROGRAM

ZERO

### 海ごみゼロウィーク

▶神瀬灯台清掃活動の様子

海ごみゼロウィーク

<https://uminohi.jp/umigomi/zeroweek/>

清掃活動に参加しよう！

CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会では、年間を通して清掃活動に取り組む企業・団体様を募集しております。ごみ袋を送付させていただきます。

▼海ごみゼロ オリジナルごみ袋



※30人以上の団体応募の場合、

海ごみゼロアワード

<https://uminohi.jp/umigomi/zeroweek/>

### 海ごみゼロアワード

海洋ごみ対策の取り組みを募集しています！  
海洋ごみ対策に関して、全国から優れた取り組みを募集剪定し、日本のモデル事例として世界に発信します。

◀2019年度アワード受賞  
与論町、誇れるふるさとネットワーク  
「一人の100歩から100人の一歩へ「拾い箱」プロジェクト」が日本財団賞を受賞！



スポGOMI甲子園

<https://www.spogomi.or.jp/zenkoku2020/>

「スポGOMI甲子園」は「海洋ごみ問題への気づき」をテーマに、高校生を対象に開催しています。ごみ拾いの質と量をポイントで競い合い、高校生ごみ拾い日本一を決める取り組みです。



### チェック！FOR THE BLUE かごしまHP 鹿児島島の海洋ごみの現状を発信！



[お問い合わせ]

CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会（事務局:MBC南日本放送）  
〒890-8570 鹿児島市高麗町5番25号  
TEL099-254-7113  
FAX099-254-7124  
MAIL marine\_day@mbc.co.jp

鹿児島

<https://www.mbc.co.jp/event/umigomi/>

## 鹿児島島の海を変える挑戦！



### 世界中で増え続ける海洋ごみの問題。

2050年にはプラスチックをはじめとする海洋ごみの量が、魚の量より多くなるともいわれています。鹿児島県を見ても、総延長2,722kmに及ぶ海岸線には、日々多くの海洋ごみが打ち上げられています。各自治体ではGWや夏休みなどのイベントを前に清掃活動を行うなど、熱心な地域も多くありますが、団体での清掃活動時以外は、ごみの処理問題もあり、地元の方や、観光客など、訪れた方が目についた海ごみを拾いたくても拾えないことも実状です。毎年多くの海水浴客が訪れる海水浴場では、海洋ごみの8割は街から流れてくるものといわれており、鹿児島県を取り囲む海を美しくするには、県内に溢れているごみを綺麗にする必要があります。そこで、CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会は年間を通して取り組む「海ごみゼロウィーク」「海ごみゼロアワード」「海ごみゼロ国際シンポジウム」の3つの活動をベースに、鹿児島独自にごみ拾い活動などを行ってまいります。

### CHANGE FOR THE BLUE とは

“これ以上海にごみを出さない”という社会全体の意識を高めるムーブメントを起こすため、産官学民からなる12のステークホルダーと連携し、海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信するプロジェクトです。



# チェスト！FOR THE BLUE かごしま2020 「160万人ごみゼロ運動」

## チェスト！FOR THE BLUE かごしま

鹿児島においても、MBC南日本放送が事務局とし、「CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会」を立ち上げ、本プロジェクトに取り組んでいます。その活動の総称を「チェストFOR THE BLUE かごしま」といいます。

「チェスト！」とは鹿児島弁で気合いを入れるときや、応援の声掛けです。「鹿児島県から世界の海を守る為に頑張ろう！」という旗印に、「チェスト！FOR THE BLUE かごしま」とつけました。

### 「プラゴミ削減プロジェクト」

流通各社と連携して「160万人ごみゼロ運動」プロジェクトの周知・訴求を行った。流通店舗内のプロジェクト仕様の装飾、マイバック運動も行いながら、プラゴミ削減の商品を開発しました。

### 「拾い箱プロジェクト」

2020年8月より、与論島ではじまった「拾い箱」の活動を参考に、海に訪れた人が拾った海ごみをいつでも捨てることのできる「拾い箱」を県内海岸に設置する活動実施！「拾い箱」という海ごみ専用のごみ箱を用意し、海岸散策で訪れた方が、少人数でも海岸清掃に取り組むことができるようにしました。「拾い箱」専用のごみ袋も準備し、鹿児島市、垂水市、南さつま市に設置しました。

### 「海ごみゼロ！ナイトアクアリウム」

鹿児島市と連携して、一般参加者を招き、夜のいおワールド水族館で海洋ごみについて考える「海ごみゼロ！ナイトアクアリウム」を開催。環境アート団体による楽器の演奏や、講演など、環境について楽しく学べる企画が盛りだくさん。今回は、YouTubeでライブ配信も行い、鹿児島県内外へプロジェクトを発信しました。

### 企業連携 コラボレーション企画

1903年創業の蔵で造る本格芋焼酎を、鹿児島の焼酎文化を支える黒瀬杜氏が生まれ育った笠沙の海底で熟成させました。海底で貯蔵した焼酎は、温度が一定で保存環境もよく、波の振動等でまろやかになり、瓶にフジツボなどの海洋生物が付着することも魅力。未来の海を思い、語り合うきっかけとなればと考え、プロジェクト推進パートナーの宇都酒造（株）と協力して「美しい海に眠る焼酎」を造りました。



蔵置所：、南さつま市笠沙町片浦  
協力：デュアルドローンハンドラーズ

### 海洋ごみ啓発 ラジオ・テレビスポット制作

民間企業の協賛で、海洋ごみの現状を周知するラジオ・テレビスポットの制作・放送しました。今年度、新たに「拾い箱Ver.」も制作しました。

応援CMレジ袋 Ver.

### ▼「拾い箱Ver.」新CM

拾い箱 Ver.

応援CMミッドウェー環礁 Ver.